

策定時に抽出した「取り組むべき11の課題」の考察

- ① 経済変動に弱い脆弱な産業構造
- ② 今後成長が期待される産業の育成
- ③ サービス産業の成長率が相対的に低い
- ④ 高度部材の強みを経済活動の成果として引き出せていない
- ⑤ 新興国等の成長する海外市場への展開の遅れ
- ⑥ 産学官連携など外部との連携比率が低い
- ⑦ 企業戦略を踏まえた誘致政策の遅れ
- ⑧ 社会課題解決に関わる取組の遅れ
- ⑨ 高度な専門人材の不足
- ⑩ マーケティング活動を展開するための資源の不足
- ⑪ 企業の現場から上がる行政の課題

策定時に整理した産業政策を展開する「6つの視点」

- ◆ 「ものづくり」と「サービス産業」を産業の両輪と捉えて産業政策を展開
(課題との関係：①②③⑨)
- ◆ 付加価値創出のための付加価値率の向上と付加価値の源泉である人材の誘致
(課題との関係：④⑥⑦⑨)
- ◆ イノベーションとマーケティングを融合・連携させ、消費者の需要・潜在需要を喚起し、さらなる需要の喚起へ
(課題との関係：⑥⑨⑩⑪)
- ◆ 海外市場を成長に取り込む国際戦略の推進
(課題との関係：②⑤⑧⑪)
- ◆ 新たな産業集積モデルの構築、成長産業の育成
(課題との関係：②③④⑧)
- ◆ 雇用の維持・創出を行い、賃金の維持・向上、消費拡大、地域からのデフレ脱却をめざす
(課題との関係：⑤⑧⑩⑪)

策定時の「6つの戦略」

- 【戦略1】
◇ ものづくり戦略
(メイド・イン・三重)
- 【戦略2】
◇ サービス戦略
◇ 観光の産業化
- 【戦略3】
◇ 海外展開戦略
(国際戦略)
- 【戦略4】
◇ 成長産業への攻めの取組
- 【戦略5】
◇ 戦略的な企業誘致を推進し、更なる県内への投資促進に挑戦
- 【戦略6】
◇ 振興戦略プラットフォームの構築
・ ネットワークの構築
・ ひとづくり
・ 中小企業・小規模企業振興方針
・ 県工業研究所

みえ産業振興戦略 戦略の体系整理

企業訪問 企業アンケートの声

- 【企業訪問でのキーワード】
- 外部連携の必要性
 - 顧客(消費者)ニーズの変化への対応
 - 経営戦略としての新技術・商品開発、新分野展開(コアテクノロジーの強化)
 - 首都圏等への販路開拓
 - 三重県のブランド力向上
 - 海外展開のリスクの低減
 - 人材の育成・確保、女性の活躍
- 【企業アンケートでのキーワード】
- 人材に対する課題(人材確保に対するニーズの高まり)
 - 経営戦略としての新技術・商品開発、新分野展開、販路開拓
 - 国際展開比率の低さ
 - 外部連携比率の低さ
 - 物流に関するニーズの高まり
 - 経営資源の不足

外部環境、社会情勢等の変化

- 【国際的な要因】
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催
 - ASEAN諸国等からのインバウンド観光客の増加
 - 航空宇宙産業の市場拡大
 - 「和食」の世界遺産登録、日本の「食」への関心の高まり
 - 石油精製・石油化学産業の構造変化

- 【国内的要因】
- ICT・ビッグデータの利活用の進展
 - 水素など次世代エネルギーの導入
 - 「伊勢志摩サミット」の開催決定
 - 東海環状道路西回りなどインフラ整備の進展
 - グローバル競争に伴う、海外生産等を視野に入れた、国内企業の適地適産の動き

「みえ産業振興戦略」に基づく 取組の中で明らかとなった課題

- 【戦略1】ものづくり戦略
- 高付加価値化に向けた人材の育成
 - 技術の高度化・効率化
- 【戦略2】サービス戦略
- 高付加価値化に向けた人材育成
 - 若手経営者の育成
 - ICT・ビッグデータの利活用
 - 持続安定的な観光誘客
- 【戦略3】海外展開戦略(国際戦略)
- 海外需要の取り込みに向けた推進体制の強化
 - 海外ネットワークの有効活用
- 【戦略4】成長産業への攻めの取組
- 新エネルギーの利活用と地域活性化
 - 新たなヘルスケア産業の創出
- 【戦略5】戦略的な企業誘致を推進
- グローバル企業の投資動向への対応
 - 対内直接投資の取組強化
- 【戦略6】振興戦略のプラットフォーム構築
- 海外ネットワークの有効活用(再掲)
 - 三重県の魅力情報の更なる発信
 - 潜在的な労働力の掘り起し
 - 企業ニーズに応じた人材育成
 - 「三重県中小企業・小規模企業振興条例」の更なる浸透

「みえ産業振興戦略」 6つの目標値から考察する課題

- 【ものづくり中小企業の付加価値率向上】
- 平成21年度31.5%(全国42位)
⇒平成25年度32.7%(全国39位)
目標とする全国平均(34.8%)には届かず。
- 【サービス産業の付加価値構成比向上】
- 平成21年度60.9% ⇒ 平成25年度59.0%
年平均0.6%の伸びを目標としたものの数値は減少。

改訂にあたり抽出した 「取り組むべき課題」

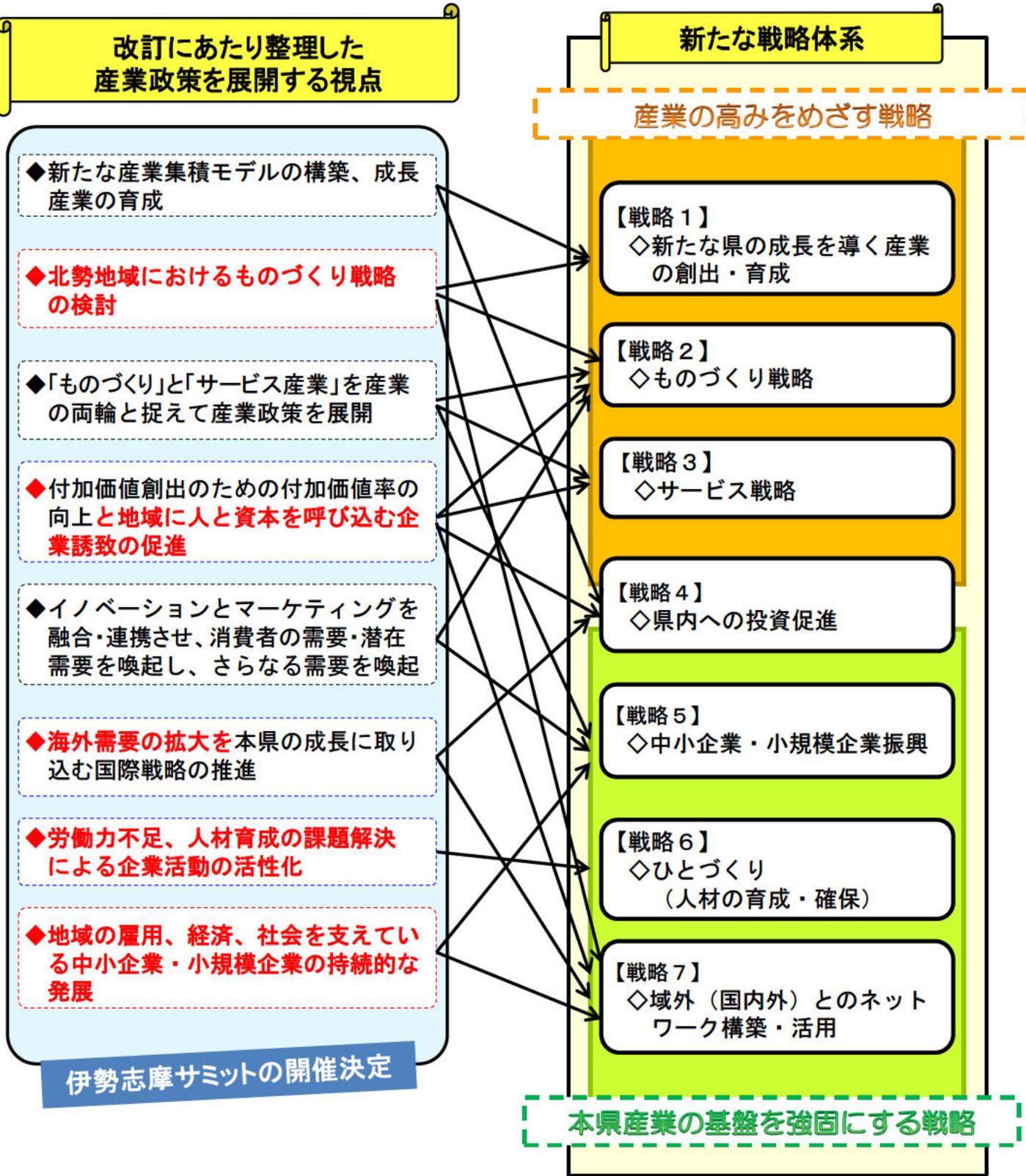
- ①経済変動に弱い脆弱な産業構造
- ②今後成長が期待される産業の育成
+ 新たなターゲットとなる航空宇宙産業、
「食」関連産業
- ③サービス産業の成長率が相対的に低い
+ ICT・ビッグデータ等による産業構造
の变革
- ④石油精製・石油化学産業の構造変化への
対応
- ⑤高度部材の強みを経済活動の成果として
引き出せていない
- ⑥新興国等の成長する海外市場への展開
の遅れ
+ インバウンド増加の取り込み
- ⑦産学官連携など外部との連携比率が低い
- ⑧企業戦略を踏まえた誘致政策
- ⑨社会課題解決に関わる取り組みの遅れ
- ⑩高度な専門人材の不足
+ 労働力を確保することが困難
- ⑪商品・サービス開発をするための経営資源
や情報の不足
- ⑫ビジネスにおける国内外での認知度の
低さ
- ⑬企業の現場から上がる行政の課題
+ インフラ・物流に係るニーズの高まり

改訂にあたり整理した 産業政策を展開する視点

- ◆新たな産業集積モデルの構築、成長産業の育成
(課題との関係: ①②③⑤⑧)
- ◆北勢地域におけるものづくり戦略の検討
(課題との関係: ②④⑤⑩⑬)
- ◆「ものづくり」と「サービス産業」を産業の両輪と捉えて産業政策を展開
(課題との関係: ①②③⑩)
- ◆付加価値創出のための付加価値率の向上と地域に人と資本を呼び込む企業誘致の促進
(課題との関係: ①②③⑧⑩⑬)
- ◆イノベーションとマーケティングを融合・連携させ、消費者の需要・潜在需要を喚起し、さらなる需要を喚起
(課題との関係: ⑦⑩⑪⑫)
- ◆海外需要の拡大を本県の成長に取り込む国際戦略の推進
(課題との関係: ②⑥⑧⑨⑬)
- ◆労働力不足、人材育成の課題解決による企業活動の活性化
(課題との関係: ⑨⑩⑪⑬)
- ◆地域の雇用、経済、社会を支えている中小企業・小規模企業の持続的な発展
(課題との関係: すべての課題への視点)

伊勢志摩サミットの開催決定

みえ産業振興戦略 「産業政策を展開する視点」と「新たな戦略体系」との関連性



本県経済・産業の ステージアップ

産業の「高み」を
めざす戦略

戦略1 新たな県の成長を導く産業の創出・育成

- 環境・エネルギー関連産業の振興
- 北勢地域における新たなものづくり戦略の展開(四日市コンビナートの活性化)
- 航空宇宙産業の振興
- 新たなヘルスケア産業の創出

伊勢志摩サミットの開催
伊勢志摩サミットを契機として、本県の経済・産業のポテンシャルを最大限引き出し、ステージアップしていくための視点が必要。

戦略2 ものづくり戦略

- 北勢地域における新たなものづくり戦略の展開
- 航空宇宙産業の振興(再掲)
- 基盤技術・オンリーワン技術の強化、成長産業の参入促進等、ものづくり中小企業の高付加価値化に向けた支援の充実

戦略3 サービス戦略

- 観光の産業化
- 「食」関連産業の振興
- ICT・ビッグデータの利活用によるビジネス創出に向けた取組の促進

本県産業の基盤を
強固にする戦略

戦略4 県内への投資促進

- グローバル企業の大規模投資を後押しする投資促進制度の充実
- 国・JETRO等との連携による対内直接投資の促進に向けた取組の強化
- 本社機能の地方移転を促進する取組
- 操業環境の進展を踏まえた誘致活動の展開

戦略5 中小企業・小規模企業振興

- 「三重県中小企業小規模企業振興条例」に基づく取組
 - ・「三重県版経営向上計画」など条例に基づく支援策の実施・充実と中小企業・小規模企業への更なる浸透
 - ・「みえ中小企業・小規模企業振興推進協議会」の地域課題解決に向けた取組

戦略6 ひとづくり (人材の育成・確保)

- 産業界のニーズに応じた人材の育成
- 県内産業を牽引する経営人材の育成
- 高付加価値化につながる技術開発人材の育成
- 高付加価値なサービスを提供するおもてなし人材の育成
- 女性の活躍促進など労働力不足に対応した雇用施策の充実

戦略7 域外(国内外)とのネットワークの構築・活用

- 「三重テラス」、関西事務所を核とした精度の高い情報発信、「みえの応援団」等のネットワークを生かした戦略的な営業活動の充実
- 「みえ国際展開に関する基本方針」に基づく取組
- 道路交通網の整備やリニア中央新幹線の開通などを見据えた、交通インフラのネットワークを活用した取組